

2025年2月20日

内閣総理大臣 石破 茂 様
経済産業大臣 武藤 容治 様
内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全） 伊東 良孝 様
消費者庁長官 新井 ゆたか 様
北海道経済産業局長 鈴木 洋一郎 様 ※宛先は個別記載

灯油の価格抑制を求める緊急要請

今冬も北日本は豪雪と寒気に見舞われています。そこに灯油価格の高騰です。北海道消費者協会は1972年から独自に石油製品の価格調査を行い、2月調査でついに灯油は1ℓ130円の大台を突破しました。リーマンショックがあった2008年9月の127.3円を超える史上最高値です。暖房用エネルギーとしての灯油は、北海道民にとって過酷な冬を乗り越える命綱です。にもかかわらず、灯油価格はコロナ禍でエネルギー価格の乱高下が始まる前の2020年2月に比べ33円、前年2月比で11円も上昇しています。

当協会が調べた1戸建て住宅の年間灯油使用量は1540ℓ、その8割を冬期の半年で使用します。その算式を当てはめると、20年冬比4万656円、前年冬比でも1万3552円上昇しました。命をつなぐ灯油の節約には限度があります。全国的な視点では、灯油は限られた地域の問題でしょうが、北海道では命にかかわる問題であることをご理解ください。かつてエネルギーを所管する官僚が「春になれば価格は下がる」と発言しましたが、道民にとって冬を超えることがどれほど大変なことか認識いただけないことに落胆しました。

政府の元売り補助が、ガソリン、灯油などの価格急騰期に歯止めをかける役割を担ったことは高く評価します。2050年の脱炭素社会の実現に向けて化石燃料の使用抑制が必要なこと、補助の削減がやむを得ないことは消費者としても理解はできます。しかし、賃金、年金が物価上昇に追いつけない状況下で、冬期の灯油だけで5年間に4万円を超す家計負担増となっている現実を踏まえ、下記の事項に取り組まれることを強く要請します。

記

- 1 灯油は、多くの道民の命綱であり、安定供給とともに、積雪寒冷の北海道の特殊性を鑑みて、地域限定の元売り補助など早急に価格抑制を図っていただきたい。
- 2 灯油を含むエネルギーの価格高騰により生活に支障をきたす低所得などの社会的弱者に対し、一層の支援を進めていただきたい。
- 3 エネルギー価格の高騰は、国際情勢に起因するものであり、産油国への増産要請や為替対策など包括的な価格抑制策を強力に進めていただきたい。

一般社団法人 北海道消費者協会

会長 長島 博子

<正会員 以下62消費者協会>

公益社団法人札幌消費者協会
江別消費者協会
千歳消費者協会
恵庭消費者協会
北広島消費者協会
NPO 法人函館消費者協会
小樽消費者協会
俱知安消費者協会
岩内消費者協会
岩見沢消費者協会
美唄消費者協会
赤平消費者協会
三笠消費者協会
滝川消費者協会
砂川消費者協会
深川消費者協会
上砂川消費者協会
栗山消費者協会
一般社団法人旭川消費者協会
士別消費者協会
名寄消費者協会

富良野消費者協会
東神楽消費者協会
東川消費者協会
上富良野消費者協会
下川消費者協会
美深消費者協会
留萌消費者協会
稚内消費者協会
一般社団法人北見消費者協会
網走消費者協会
美幌消費者協会
斜里消費者協会
雄武町消費者協会
室蘭消費者協会
苫小牧消費者協会
登別消費者協会
伊達消費者協会
浦河消費者協会
一般社団法人帯広消費者協会
音更町消費者協会
清水消費者協会

芽室消費者協会
中札内消費者協会
大樹消費者協会
幕別町消費者協会
池田消費者協会
本別消費者協会
足寄消費者協会
浦幌消費者協会
釧路消費者協会
釧路町消費者協会
厚岸消費者協会
浜中消費者協会
標茶消費者協会
弟子屈消費者協会
阿寒消費者協会
白糠消費者協会
鶴居村消費者協会
根室消費者協会
別海町消費者協会
中標津町消費者協会
(計62協会)